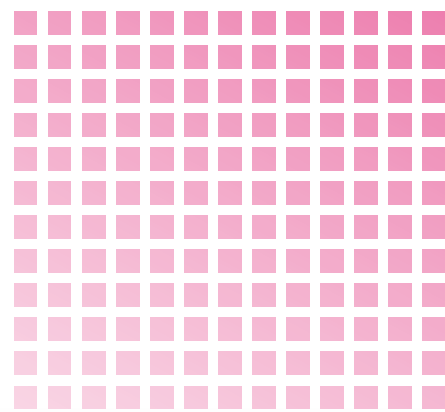


議会だより おかがき

No.111 3月定例会 平成29年4月25日発行

子ども医療制度拡充へ！ ● 2～4
町政を問う ● 8～11



一般会計予算の内訳

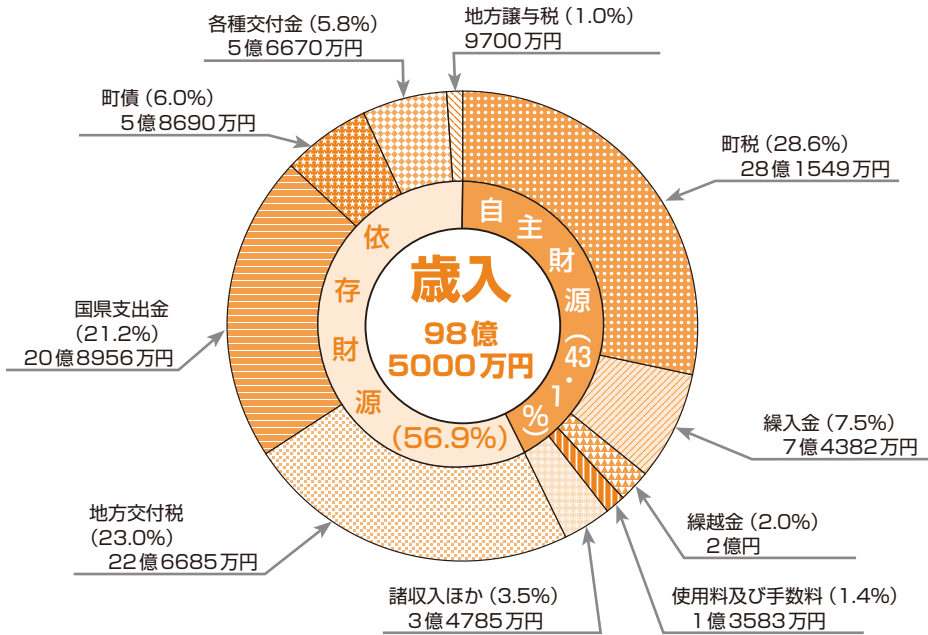
定例会 **3月** 概要版

平成29年度一般会計・各特別会計予算可決 子ども通院医療費 中学3年生まで助成

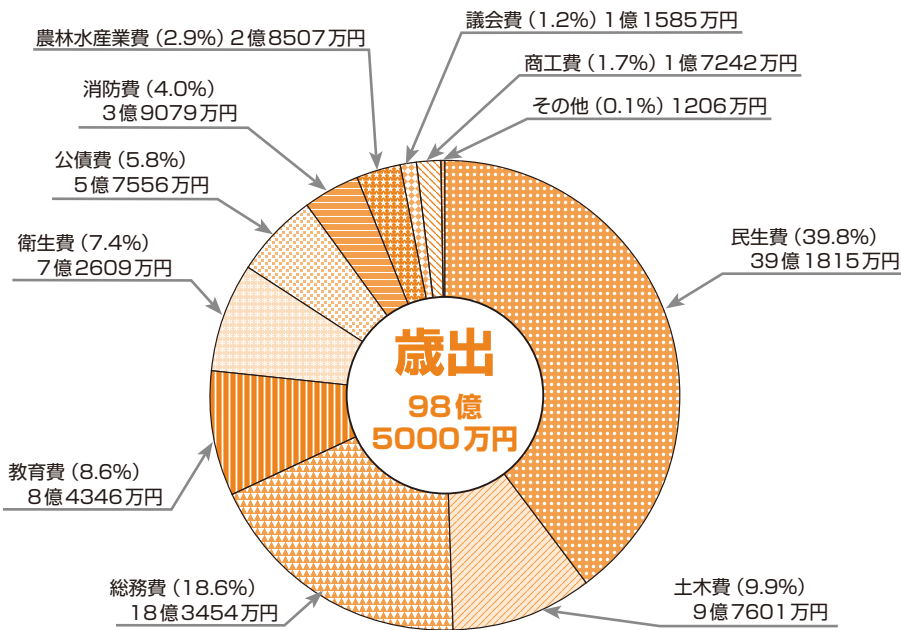
一般会計予算98億5000万円(前年度比1.7%増)

第1回定例会を3月2日から3月21日までの日程で開催し、平成29年度一般会計予算を含む議案28件、諮問4件、陳情1件、発議1件などについて審議しました。

歳入(財源)



歳出(使い道)



▼一般会計予算とは

町の基本的な行政運営を行うための経費を中心に計上した会計のこと。

▼特別会計予算とは

国民健康保険事業のように法律で義務づけられた会計のほか、水道事業などの地方公営企業の経理を明確にするための会計のこと。

▼地方交付税とは

市町村が一定の行政水準を確保できるように所得税・法人税・酒税・消費税の一定割合及び地方法人税を基準により国が市町村に対して交付するお金のこと。使い道は制限されず、一般財源として使用。

▼町債とは

町が事業を行うために国や金融機関などから借りるお金のこと。

▼公債費とは

町債などを返済するお金のこと。



【会計別予算額】

		平成29年度 当初予算	平成28年度 当初予算	前年比
一	般 会 計	98億5000万円	96億8400万円	101.7%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	44億6968万円	44億4662万円	100.5%
	後 期 高 齢 者 医 療	5億9369万円	5億4265万円	109.4%
	住 宅 新 築 資 金	79万円	79万円	100.0%
公 営	水 道 事 業	5億226万円	5億460万円	95.7%
	下 水 道 事 業	9億3681万円	9億2939万円	100.8%

* 公営企業会計は収益的支出の額

平成29年度歳出予算の特色

総務費

- ① 地域情報伝達無線システム整備事業 3億4959万円
- ② 住居表示整備事業 515万円
- ③ まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業
(地下水ブランド化研究等) 1169万円
- ④ 定住促進対策事業 4396万円
- ⑤ サンリーアイ施設管理運営事業
(施設改修費含む) 2億8821万円

民生費

- ① 結婚新生活支援事業 120万円
- ② 災害時避難行動要支援者避難支援事業 644万円
- ③ 認知症施策推進事業 570万円
- ④ 障害福祉計画等策定事業 571万円
- ⑤ 自立支援サービス事業 5億4971万円
- ⑥ 子ども医療事業 1億3533万円
- ⑦ 児童手当支給事業 5億2891万円
- ⑧ 児童福祉施設運営事業
(中部・私立保育所・広域入所等) 3億8245万円

衛生費

- ① 感染症予防事業 2588万円
(高齢者インフルエンザ予防接種等)
- ② 乳幼児等感染症予防事業 6234万円
(子どもインフルエンザ予防接種等)
- ③ 母子健康づくり支援事業 2722万円
- ④ 各種検診事業 2441万円
(がん検診・特定健診・特定保健指導等)

農林水産業費

- ① 農業委員会運営事業 812万円
- ② 多面的機能支払交付金事業 1678万円
- ③ 森林保全対策事業
(町有林整備委託等) 1217万円

商工費

- ① 商工会活性化事業 2158万円
- ② 中心市街地活性化事業 325万円
- ③ 観光協会補助金 2054万円
- ④ 消費生活対策事業 427万円

土木費

- ① 道路維持事業 8851万円
- ② 町道改良事業 7492万円
- ③ 空き家対策事業 548万円
- ④ 国道3号岡垣バイパス4車線化推進事業 135万円
- ⑤ J-R海老津駅南側開発事業費 1億2364万円

消防費

- ① 災害対策事業 1203万円
(災害用備蓄、県防災無線改修負担金等)

教育費

- ① 私立幼稚園就園奨励補助事業 1億549万円
- ② 小学校施設整備事業 2069万円
- ③ 中学校施設整備事業 6769万円

■当初予算審議状況（連合審査会）

議員からの主な質疑内容

○施政方針について

- ・町の財政
- ・公共施設の今後の見通し
- ・少子高齢化
- ・地方創生
- ・行政改革の取り組み

○歳入

- ・町税滞納への対応
- ・特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金
- ・米の生産調整情報管理業務委託料

○総務費

- ・サンリーアイ施設改修工事
- ・地下水ブランド化に関する研究委託
- ・情報プラザ施設管理
- ・法律顧問委託
- ・公会計整備支援委託
- ・地域情報伝達無線システム工事
- ・不動産鑑定・差押関連
- ・ボランティア育成支援補助金

○民生費

- ・いこいの里施設管理運営
- ・避難行動要支援者システム
- ・結婚新生活支援事業
- ・認知症カフェ助成事業
- ・高齢者運転免許証自主返納者支援事業
- ・民生委員・児童委員協議会
- ・老人クラブ助成金

○衛生費

- ・子どもインフルエンザ予防接種
- ・がん検診委託
- ・環境衛生
- ・ゴミ処理施設

○農林水産業費

- ・三里松原の保全
- ・小規模ほ場整備・暗渠排水事業あんきょ
- ・多面的機能支払交付金
- ・イノシシ被害防止対策事業
- ・農地測量業務委託
- ・町有林整備委託

○商工費

- ・臨海荘施設整備
- ・観光ステーション北斗七星整備
- ・岡垣町の特産品を育てる会
- ・中心市街地活性化業務委託

○土木費

- ・空家対策計画策定委託
- ・海老津地区の宅地開発

○教育費

- ・小・中学校施設整備
- ・学力調査委託
- ・小・中学校就学援助
- ・文化財保護事業

■全員協議会の議題

- ①公共施設等総合管理計画の策定経過
- ②岡垣町行政組織規則の改正（係の設置）
- ③コンビニエンスストアにおける証明書の自動交付
- ④国民健康保険の広域化
- ⑤岡垣町地域福祉計画の策定経過
- ⑥第10次住居表示事業の実施
- ⑦航空自衛隊芦屋基地の滑走路延長
- ⑧岡垣コミュニティバスふれあいのダイヤ改正
- ⑨中学校における就学環境是正措置請求事件
- ⑩岡垣町議会住民懇談会
- ⑪タブレット端末の導入



平成29年度 岡垣町一般会計予算

反対

平山 正法 議員

岡垣町でも、アベノミクスの影響で生活が苦しくなったという家庭がふえている中、就学援助の新入学児童生徒に対する入学準備費用の補助単価引き上げや子どものインフルエンザ予防接種補助、子どもの医療費補助を中学3年生まで拡充することは評価できるが、窓口負担が1200円に引き上げられることは残念である。

介護保険法が改正され、昨年度から始まった新総合事業は、介護サービスの対象を限定し、利用者の負担増となるため、中止、撤回を求める。

また、コンビニでの証明書の自動交付が始まるが、町民がリスクを抱える歳出はすべからざるべきでないと考え反対する。

賛成

森山 浩二 議員

町長は施政方針の中で、定住人口の増加や活力あるまちづくりに向けた新たなステージへ展開すると表明した。その考えの具体策として、子ども医療費の拡大や子どものインフルエンザの助成、学童保育所の整備などに着手した。

しかし、厳しい財政状況の中、新たな事業を次々と始めることは難しいが、お金をかずに「どうすれば住民サービスの向上につながるか」という考えを常に持てば、新しい発想は生まれる。町長の3期目はスタートしたばかりなので、じっくりと時間をかけ、第5次総合計画の実現に向けたまちづくりに取り組むことを期待し、賛成とする。

西 美千代 議員

平成29年度一般会計予算では、子育て政策として子ども医療費を中学3年生まで助成拡大、季節性インフルエンザの予防接種費用の助成も予算計上された。また、民間保育所の建てかえにより、待機児童の解消が期待できる。高齢化の進む岡垣町で安心して年を重ねることができるよう施策として、認知症カフェ助成事業補助金や福祉ボランティアポイントの還元のための予算も計上された。

これまで私が反対してきたJR海老津駅南側道路等整備事業が昨年12月に完成したことを受け、これからも安心安全な対策をとっていただくことを求めて、賛成する。

広渡 輝男 議員

岡垣町の主要な財源である固定資産税や住民税などの地方交付税が大幅に減額され厳しい財政状況の中で、安全安心のまちづくりへ向けた地域情報伝達無線システム整備の推進や米の生産調整（減反廃止）に伴う農業の振興、農地の環境対策、中心市街地再開発、またコミュニティバスなどの生活交通の確保とあわせてデマンド交通システムの導入の取り組み等、町を取り巻く課題の予算が確保されており評価する。

さらにまちづくりの5つの基本姿勢（グランドデザイン）の実現へ向けて、大胆かつ戦略的に取り組まれることを求めて賛成する。



賛成

神崎 宣昭 議員

平成29年度予算は、子育て・安心安全・自然・健康・産業の約束をキーワードにした町政運営が行われる。

- 子どもたちが健全で豊かに育つための環境づくり。
- みんなが安心安全・心豊かに暮らせるまちづくり。
- 自然・森林・地下水・海を守り環境にやさしいまちづくりの推進。
- 健康で生きがいを持てる暮らしの支援。
- 農業・漁業・地場産業の育成と企業誘致の促進。
- まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進。

これらの事業に対して、公正公平に予算配分され、新たに行政改革に取り組まれることを評価して、賛成する。

太田 強 議員

町の課題はたくさんあるが、その一つが人口減少問題への対応である。少子化対策として、子ども医療費の拡充や民間保育所の建てかえ、学童保育所の増設など、子育て世代への支援策に力を入れていく。また、地域情報伝達無線システムの導入も、住みよいまちづくりへの大きな目玉になる施策と思う。少子高齢化の影響で、岡垣町も空き家が急激にふえつつある。この空き家対策も官・民による「空き家対策協議会」が立ち上げられ「空き家対策計画」が策定されることとなった。このように今やらなければならぬ町の課題に対して着実に取り組む予算と評価し、賛成とする。

小野 元次 議員

町長は3期目の基本姿勢で、子育て・安心安全・自然・健康・産業の5つの約束を示されている。今議会での施政方針と一般会計予算編成は第5次総合計画後期基本計画に掲げる施策大綱の実現に向けた強い意思の表れである。町民に評価の高い「恵まれた自然環境の保全とおいしい水の供給など」の推進をなお一層期待する。

社会的な課題である少子高齢化対策へ向けての定住促進や空き家対策、高齢者福祉の充実、心豊かに育つ学校教育の充実、安心安全なまちづくりに向けた防犯と防災の推進などに配慮がされている。これらの施策を評価して賛成とする。

曾宮 良壽 議員

当該予算の使い道を俯瞰すると、江戸時代から現代に至るまで、基本的に何も変わらないと改めて認識した。財政のありようは常に変わらず、その不足分を補っているのは、成熟した地域・地方の人であり、それは江戸時代から少しも変わらない。

町のさまざまな分野で、町民が各人自主的な地域活動に参画しており、この参画無くしては、町が立ち行かないと思われる。例えば、子ども達の登下校時の見守り・青パト、自治区長、福祉委員、民生委員、消防団等の活動がそれにあたる。このように、町民により町が成り立っていることを再認識した予算案である。



金毘羅山からの眺望



ボランティアによる梅の植樹

平山

認知症支援の取り組みを

町長 支援を推進する



平山 正法 議員

必要性を適切に判断していません。

平山 介護保険制度が改正され、岡垣町でも昨年4月から新総合事業が開始されました。

それに伴い、要支援の方へのケアマネジメントのあり方が変わりましたが、岡垣町ではどのようなになっていますか。

町長 岡垣町における要支援1と要支援2の方への対応については、利用者や事業者が混乱しないよう、遠賀郡4町で共通のチェックリストを作成し、運用しています。

申請を希望される方から地域包括支援センターの窓口にご相談があった際には、対象者の身体や生活の状況などを十分に聴き取り、チェックリストを用いて要介護認定申請の



平山 新オレンジプランでは、認知症地域支援推進員と認知症初期集中支援チームを全ての市町村に設置することが示されています。岡垣町ではどのような取り組みを検討していますか。

町長 国が策定した新オレンジプランに基づき、第7期高齢者福祉計画において認知症の早期発見・早期治療の促進

を重点施策として位置づけ、認知症の人に対する支援体制を構築するため、認知症地域支援推進員と認知症初期集中支援チームを設置することを掲げており、それぞれ本年10月から実施する予定です。そして、認知症地域支援推

進員と認知症初期集中支援チームがしっかりと連携し、認知症の早期発見、早期治療につなげるとともに、認知症を発症しても地域で安心して暮らしていけるよう、支援を進めていきます。

太田

駅周辺市街地の活性化を

町長 取り組みを進める



太田 強 議員

測量がおおむね完了しています。本年度は、県道及び町道の移管協議と物件調査に着手し、来年度は、準備が整い次第、用地買収を進めていく予定との説明を受けています。

太田 県道岡垣宗像線バイパスは、地元関係者との協議や道路排水処理計画の検討、路線測量及び地質調査が実施されています。来年度は、道路排水処理協議が整った後、東黒山側の用地測量等を行い、準備が整い次第、用地買収を進めていく予定であると説明を受けています。

太田 駅周辺市街地はシャッ

太田 海老津駅南側道路整備事業がようやく完工しましたが、これで全てが完了したとは言えません。駅南側地域のさらなる利便性向上に欠かせない都市計画道路海老津・源十郎線及び県道岡垣宗像線バイパス整備事業の進捗状況をお尋ねします。

町長 海老津・源十郎線は、県事業として昨年度までに用地



新海老津 昭和通り

ター通りとなりつつあり、このままでは町の表玄関としては寂しい限りです。駅周辺市街地の活性化は大変重要と考えますが、町長の考え方を教えてください。

町長 現在は、商工会や郵便局を含む、約1.2ヘクタールの区域を区画整理事業により整備することについて検討していますが、公益性の確保や採算性の課題があり、最近では周辺地域の状況変化も踏まえながら進めていく必要があります。中心市街地の活性化は重要課題と認識していますので、地元関係者ともしっかりと協議しながら、取り組みを進めていきたいと考えています。

森山

入浴施設のサービス向上を

町長

指定管理者と連携して取り組む



森山 浩二 議員

森山 いこいの里入浴施設の年間利用者数は、約4万人程度で推移しています。開館当初は利用者も多く、その後施設の老朽化に伴って利用者数が減少していったと推察します。この他にも利用者に対するサービスの低下が減少につながっているのではないかと考えますので、町長の見解をお尋ねします。

町長 減少の理由としては、近隣に民間の入浴施設が開業していることや、外部評価後の経費削減の取り組みによる影響などが考えられます。いこいの里は、公共施設であるため、安価な料金で利用していただけるようにしてお



り、また、限られた予算の中で管理運営を行っています。民間の入浴施設と比較するとサービス面で及ばない部分もあるとは思いますが、町民がくつろげる施設として指定管理者である社会福祉協議会と連携し、サービスの向上と利用者の増加に努めます。

森山 入浴施設以外にも館内には、カラオケ室やギャラリイがありますが、いずれも利用状況が活発ではありません。

改善が必要と考えますので、町長の見解をお尋ねします。

町長 ふれあい館のギャラリイは、芸術作品の展示やボランティア団体の活動等に利用されていますが、利用頻度が低いため、有効活用の検討が必要であると認識しています。

小野

海老津地域に街路灯を

町長

街路灯増設は検討していく



小野 元次 議員

小野 海老津中村交差点から旧国道3号側の海老津風の森団地入口まで及びJR鹿児島本線までの区間は、夜間は照明が少なく、小中高校生の帰宅時や女性が買い物等で夜間に通行する際には、危険性があると感じています。この区間に都市景観に配慮した街路灯の整備をお願いします。

町長 県道岡垣宗像線とその

このため、平成29年度から取り組みを進める行政改革において、ふれあい館ギャラリイの有効活用について、検証を行いたいと考えています。

○このほか、公営企業の経営改善について質問しました。

周辺には、夜間における道路交通の安全確保や暗い道での防犯を目的として、多くの道路照明が一定の基準に基づき設置されています。質問の区間は、今後の住宅開発に伴い、周囲の環境も変化していくことから、景観に配慮した形状の街路灯の増設については、商工会とも協議しながら検討していきたいと考えています。

小野 近年、多様な事件や凶悪犯罪がふえており、防犯カメラは犯罪捜査解決のため、適切かつ効果的に活用されています。岡垣町でも安全・安



旧3号線 中村交差点付近

心な環境の構築に向けて、防犯カメラ設置に対する助成を検討してはいかがですか。

町長 公共施設の防犯カメラについては、犯罪等の防止のため、既に設置している129台に加え、平成29年度にはさらに30台を増設する予定であり、この台数は郡内他町と比べて充実しています。防犯カメラ設置に対する助成制度の創設につきましては、他の自治体での動向や本町における犯罪発生状況などにより、警察と協議しながら今後検証していきます。

○このほか高齢者活動による地域創生の支援について質問しました。

西

海老津駅周辺の安心・安全を

町長

交番の設置で確保される



西 美千代 議員

西 昨年12月にJR海老津駅南側道路等整備事業は完了しました。自由通路をはじめ、駅南側のトイレの利用に関して安心・安全な場所であって欲しいと思っております。また、北側の駅前広場の朝夕の送迎状況は以前にも増して混雑しており、早急な対策が必要です。

町長 自由通路については、十分な照明の配置と防犯カメラの設置に加え、さらに交番も移設されますので、安全性については十分確保されるものと考えています。駅前広場の混雑については警察とも協議し、駐車マナーの向上や駐車場利用促進に向けた対応を

していきたいと思えます。

西 岡垣町の高齢者福祉計画を進めるために「岡垣版地域包括ケアシステム」の構築に向けて、行政、町民、地域団体、事業者などの関係機関が協働の力で取り組みを進めています。昨年からは開始された、福祉ボランティアポイント制度の現状と今後の課題についてお尋ねします。

町長 平成29年2月現在、福祉ボランティアが476人で



受人機関が35箇所となっております。将来的な活動を担う人材不足が大きな課題となっております。制度の運用面では、ポイント対象事業の拡大や還元内容の充実などがあります。

西 総合ボランティアポイント制度を進めていくために

三浦

自然環境に配慮した開発促進を

町長

環境と共生するまちづくりに努める



三浦 進 議員

三浦 JR鹿児島本線南側にはまだ手つかずの広大な余地があります。今後、町と地域の発展に考慮して、駅南側開発をどのように進めますか。

町長 鹿児島本線南側の一部区域の地権者にアンケート調査を実施しています。今後、駅南側地区の開発促進に向けたPR等を行いながら、民間開発の促進や企業誘致の

は、ボランティアセンターの役割が大きいと思えます。

町長 今後、課題を整理し、ポイント対象事業の拡大を含め、まちづくり全体のボランティア制度の構築に向けた検討を進めていきます。

取り組みを進めていきたいと考えています。

三浦 県道岡垣・宗像線の整備は駅南側の開発に多大な影響を及ぼす要因と考えますが、町長の見解をお尋ねします。

町長 町内の主要な道路を結ぶ整備を促進し、駅南側地域の立地条件を向上させることで、町の定住促進や企業誘致に向けた取り組みにつなげていきたいと考えています。

三浦 駅周辺の矢矧川は、ホテルやカワセミが見られる格好のスポットです。駅南側開発の促進と自然環境の保全をどのように考えていますか。



海老津地域の宅地開発

町長 良好な自然環境の保全は、まちの将来像の実現において重要な課題の一つです。今後も環境と共生するまちづくりを基本理念に、駅周辺の豊かな自然環境の保全に努めます。

三浦 スーパー丸和が海老津駅前から撤退後、人口密集地域である海老津地区にスーパー等の誘致を考えていますか。

町長 現在は住宅開発等により周辺の環境も変化すると考えられ、民間所有ですが、企業を誘致できる土地もありませんので、引き続き情報収集や企業訪問による積極的なPRを行い、スーパー等の誘致につなげていきたいと考えています。

議会広報特別委員会

町民の皆様に議会や町政への関心を深めていただけるような、読みやすく分かりやすい議会広報紙を発行するため、中土佐町の議会広報常任委員会の皆さんと意見交換をしました。

中土佐町議会では、議会だよりを議会広報クリニックスやコンクールに応募し、指導を生かして親しまれる紙面づくりをしています。また、住民に議会広報紙アンケートを行い、住民と密接した議会だよりを発行しています。



広渡

米政策の見直しに対するきめ細かな対応を求める

町長

農業（農家）経営の安定、多面的機能の維持に努める



広渡 輝男 議員

広渡 基幹産業の稲作農業は、約50年間続いた生産調整（減反）が平成30年産米から廃

町長 平成30年産以降の全国的な需給調整の取り組み状況がいまだ見えてこない中、今

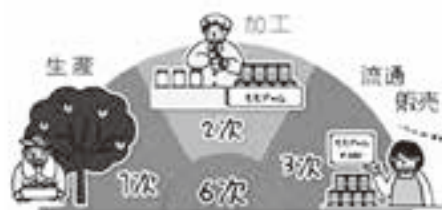
広渡 米の生産調整（減反）廃止後の農家経営は経営所得安定対策などが見直されていますが、対象者は認定農家や集落営農で、兼業農家は対象外です。岡垣町の農家経営は専業農家39%、兼業農家61%と兼業農家が6割以上占めています。生産調整（減反）

町長 国は農家経営の安定を図るため、麦、大豆、飼料米などの戦略作物の生産や高収益性の作物への転換を支援するとしています。米政策改革に伴う影響や今後の情勢は依

止されます。行政による生産数量目標配分から生産者がみずからの経営判断と販売を行うという大改革を目前に、不安を抱える農家への情報提供や助言についてお尋ねします。

町長 国は農家経営の安定を図るため、麦、大豆、飼料米などの戦略作物の生産や高収益性の作物への転換を支援するとしています。米政策改革に伴う影響や今後の情勢は依

廃止を前提に引き続き米を作り続けるのか、高収益型の農作物等に切りかえるのか、直売を視野に野菜作りを行うのか、それとも廃業するのか等迷っているのが実情ではないでしょうか。生産調整廃止後の農家経営と耕作放棄地対策についてお尋ねします。



農業の総合産業化

然として不透明なものが多く、町としても国の動向を見極めると同時に、制度に即した適切な対応を図ります。

委員会活動レポート

議会運営委員会

日時 平成29年2月8日
 視察先 福岡県篠栗町議会
 視察の目的 ・ ICTを活用した議会運営
 ・ タブレット端末の導入経過と
 活用状況

全国的にタブレット端末の導入を進める議会がふえている中、岡垣町議会でのICT（情報通信技術）化の可能性を追求するため視察を行いました。

篠栗町議会は、平成26年6月議会から使用基準を作成し、タブレット端末を導入しています。タブレット端末の導入経過と活用状況について説明していただきました。

今後、タブレット端末の導入を前提にさらに調査・研究を進めていきます。



文教厚生常任委員会

日時 平成29年1月13日
 視察先 岡垣東中学校
 視察の目的 ICT授業の現状

岡垣町では平成28年の2学期から中学校のICT（情報通信技術）化を進めており、全普通教室にプロジェクターを使った電子黒板が設置されました。

本委員会は、教育、福祉、環境を活動テーマとしています。今回は岡垣東中学校を訪れ、理科、英語、社会のICT化授業の様子を視察しました。先生たちは工夫しながら授業に取り組んでいます。今後、いろいろな可能性が期待できるのではないかと感じました。



議会の動き

12月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
12月 9日	議会広報	議会だより編集
12月21日	議会広報	議会だより編集
1月10日	議会広報	議会だより編集
1月18日	議会運営	第1回臨時会
1月25日	本 会 議	第1回臨時会 上程・委員会付託
1月25日	総務産業	付託案件審査
1月25日	連合審査会	付託案件審査
1月25日	本 会 議	第1回臨時会議決
2月 2日 ~3日	議会広報	視察研修（高知県中土佐町）
2月 8日	議会運営	視察研修（篠栗町）
2月 8日	議会運営（協）	タブレット端末の導入
2月10日	議会広報（協）	議会広報常任委員会設置に向けた協議
2月13日	文教厚生	学校視察（岡垣東中学校）
2月16日	議会運営	第1回定例会
3月 2日	本 会 議	3月定例議会開会 上程・委員会付託
3月 2日	議会広報	議会だより編集
3月 3日	連合審査会	付託案件審査
3月 3日	本 会 議	議決
3月 6日	本 会 議	一般質問（4名）
3月 7日	本 会 議	一般質問（3名）
3月 8日	総務産業	付託案件審査
3月 9日	文教厚生	付託案件審査
3月13日	全員協議会	公共施設等総合管理計画の 策定経過ほか
3月14日	連合審査会	付託案件審査
3月15日	連合審査会	付託案件審査
3月16日	連合審査会	付託案件審査
3月21日	本 会 議	議決・発議3月定例議会閉会
3月21日	議会広報	議会だより編集

議会広報特別委員会が 常任委員会に変わります

議会広報特別委員会は、平成18年3月定例会で設置され現在に至っています。

特別委員会は、臨時特定の事件があるときに設置され、その事件や審査が終了したときに消滅するものです。

今後も議会だよりを発行することから、期限を設けた特別委員会ではなく常任委員会とするために3月定例会で発議案を提出し、全会一致で可決されました。なお、5月臨時会から常任委員会へと変わります。

総務産業常任委員会

町道認定現場確認



海老津風の森



上 高 倉

岡垣町のここはどこ？

この施設は、「交流」「ふれあい」「にぎわい」を創出し、子どもからお年寄りまで楽しみながらマルチメディアを学ぶことのできる空間です。

3階のカフェでは、軽食がとれ、ホッとくつろげる空間になっており、たくさんの雑誌や書籍を用意した図書コーナーも隣接しています。

4階にはICT体験コーナーや学習コーナーがあり、パソコン研修の予習や受講後の復習など、自身のスキルアップなどにも活用できます。

びわりん・びわすけからの一言
「パンケーキおいしかったよ。」



No.110の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、「いいの里」でした。

会議録を閲覧してみませんか



- ◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

自治功労者表彰

下川路勲議員の永年にわたる議員活動が認められ、福岡県町村議会議長会から自治功労者表彰を受けられました。



どうぞ傍聴席へ

次の臨時会は
5月1日(月)
開会の予定

次の定例会は
6月2日(金)
開会の予定

議会事務局職員が 替わりました

平成29年4月1日の人事異動に伴い、廣渡要介係長が昇格し課長補佐として地域づくり課へ異動し、新たに神屋聖子係長を迎えることとなりました。

編集後記

平山 正法

1年は早いもので、今年も出会いと別れの季節を迎えた。小中学校の卒業式に出席し、先生や友達との別れを惜しみ、涙する子どもたちを見て、私も涙ぐんでしまった。いつ見ても、この光景は心を揺さぶられるものである。

入学式では、新たな気持ちに満ちあふれた子どもたちを見ることができ、私も勇気づけられた。

私たちが議員は当選から2年が経過した。5月には委員会等の改選があるため、このメンバーでの議会だより発行は最後の仕事となった。5月以降、議会広報特別委員会は常任委員会として生まれ変わり、今よりも責任が重くなる。私たちが、子どもたちに負けない新たな気持ちで残りの2年間、町内を駆け回りたい。

発行責任者
議長 横山 貴子
議会広報特別委員会

- 委員長 神崎 宣昭
- 副委員長 平山 正法
- 委員 西山 美千代
- 委員 三浦 美千代
- 委員 森山 浩二
- 委員 木原 大輔